

“植物療法”がこれからの日本に果たす役割とは
～植物療法の自然・現場での体験がなぜ必要なのか～

主催 NPO 法人日本ホリスティック医学協会関東フォーラム委員会 (生活習慣病予防指導士 3 単位)

共催 NPO 法人日本森林療法協会、NPO 法人日本メディカルハーブ協会、一般社団法人バッチホリスティック研究会

協賛 社団法人日本アロマ環境協会

2012 年の初頭、東日本大震災を経て日本および日本人の意識、状況に種々の変化が見られる中、「植物療法」が“これから”の日本に果たす役割について、各スペシャリストが提言します。

＜第 1 部＞「植物療法」がこれからの日本に果たす役割とは～植物療法ネットワーク各領域からの提言」

～東日本大震災を経て日本人の価値観や生き方に変化が見られるようになった現在、被災地の援助や復興支援に関わった団体も少なくないという経緯も踏まえて、“これから”の日本において各種の“植物療法”が果たす役割について、各団体の代表者からの提言です。

パネリスト NPO 法人日本森林療法協会・奈須憲一郎理事長 / NPO 法人日本メディカルハーブ協会・林真一郎副理事長 / 一般社団法人バッチホリスティック研究会・林サオダ理事

＜第 2 部＞「植物療法の現場での体験がもたらす効果とは ～植物療法の各スペシャリストからの発信」

～自然・森林が豊かなフィールドであること、ハーブガーデンが整備されていること、各地の風土・文化が残っていることなど、植物療法の現場で実地体験を行なう魅力、意義について、経験豊かな植物療法の各スペシャリストからの発信です。

パネリスト 飯田みゆき (薬剤師、森林養生プログラムスタッフ) / 佐々木薫 (株生活の木プランニングマネージャー) / 穴戸多恵子 (登録園芸療法士、HERB AND CRAFT 代表) / 杉浦裕里江 (株ニールズヤードレメデイズスクール事業部マネージャー) / 村上志緒 (トトラボ代表、グリーンフラスコ研究所主任リサーチャー)

日時 2012 年 1 / 28 (土) 13:30~16:45

場所 総評会館 203 会議室
(東京都千代田区神田駿河台 3-2-11)

参加費 会員 2,500 円、一般 3,500 円
(会員とは**主催**、**共催**、**協賛**の団体の会員)

*バッチホリスティック研究会はコース受講生および修了生が会員扱いとなります。

＜お申し込み＞

NPO 法人日本ホリスティック医学協会
関東フォーラム委員会 ho-kanto@tg.rim.or.jp まで
1 氏名、2 会員 (団体名) か一般の種別、3 住所、4 電話をメールにて申し込み後、受付受理の連絡が届きましたら、参加費をお振込み下さい (締切日 1/20)。

三菱東京 UFJ 銀行西新宿支店 普通 0057567

特定非営利活動法人 日本ホリスティック医学協会



(司会) NPO 法人日本ホリスティック医学協会・降矢英成